

令和6年3月分	
回覧	親子の消防・救急フェスタ
回覧	第37回「四国こんぴら歌舞伎大芝居」 ボランティア募集要項
回覧	未来の図書館はじめませんか in 琴平
町内全域一斉クリーン作戦の参加について（ご案内）	
大切な命を守るためにあなたができること	
琴平町文化協会だより	
琴高通信第26号	
絵本文庫どり～む	
ことひらまちじゅう図書館	
福祉ことひら	

部数が不足している場合は、琴平町企画防災課（75-6711）までご連絡ください。

琴平町母子愛育会主催

# 親子の 消防・救急フェスタ

3月20日(水・祝) 10:00～(受付9:30～)

感染予防のため受付時間を分けてご案内します。

琴平町総合センター

駐車場は、**町営東駐車場**をご利用ください。  
(総合センターでの受付時に無料券をお渡しします)

最後にはお土産の  
プレゼントも  
あります♪



## 子どものための 一次救命処置講座



心肺蘇生やAEDを用いた一次救命  
処置や緊急時にも役立つ応急処置の  
方法をレクチャー

日本赤十字社 香川県支部

## 消防車との 記念写真撮影



かっこいい消防車と消防服で  
気分は本物の消防士!

※災害発生等により消防車が来られない  
場合もあります。

申し込み  
問い合わせ

琴平 0877-75-2552 (真鍋)

榎井 0877-75-0930 (今井)

象郷 080-4031-4416 (近石)

子ども・保健課 0877-75-6719

☒ kodomohoken@town.kotohira.lg.jp

上記のいずれかに

来場予定者の名前、連絡先をお伝えください。

メールはこちらから→





町営東駐車場案内図



# 町営東駐車場 案内図



**町営東駐車場**  
 総合センターでの受付時に  
 無料券をお渡しします

**琴平町総合センター**

商店街

琴平町役場

琴平小学校

琴平高校

琴平中学校

電話 0877-75-2525 (真昼) 0877-75-0930 (夜)  
 0877-75-0719 (夜) 0877-75-2525 (真昼)







琴平町に図書館を作る町民会議主催  
共同募金助成事業

## 未来の図書館はじめませんか in 琴平 第14弾！ 図書館見学 & ワークショップ

図書館という公共施設を考えることは、自分たちの生活を考えること。  
2019年に「図書館設営要望書」を琴平町に提出後、私たちの生活様式は様変わりしました。  
琴平町に住む私たちのこれからを一緒に考えてみませんか？お気軽にご参加ください。

開催日：2024年3月24日（日）

集合場所：善通寺市ZENキューブ3階 講義室3（受付9：20～）

講師：嶋田 学氏（京都橘大学 教授）

定員：15名

参加費：無料

申し込み：電話 0877-75-1371（窓口 琴平町社会福祉協議会）

または、Google フォームにて受付



### 嶋田学氏

瀬戸内市民図書館 元館長。  
現在、京都橘大学 教授。  
20/21'年と琴平町で講演。



### — PLAN —

9：30～

◆嶋田学先生に図書館について **きいてみる**



（オンライン講演）

10：30～

◆新しくなった善通寺市立図書館を **みてみる**



13：00～

◆文化会館で琴平町について **かんがえてみる**

※15：00 終了予定

### 善通寺市立図書館

2022年に開館。50年ぶりの  
新築となった市の庁舎と併設。



各 位

琴平町長 片岡 英樹  
印

町内全域一斉クリーン作戦の参加について（ご案内）

立春の候、皆さま方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
日頃は、本町環境美化活動の推進につきまして、ご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
本町におきましては、「ごみ」のないきれいな町を目指し「春季クリーン作戦」を、下記の日程で実施いたします。  
つきましては、ご多用の折恐縮ではございますが、ご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※参加票は当日ご持参ください。

※雨天の際など万一、中止の場合は当日朝8：30までに町ホームページに案内させていただきます。

記

1. 日 時 令和6年3月24日（日）午前9時受付開始～10時30分
2. 受付場所 下記のうちいずれか希望する場所となります。  
○琴平地区 公会堂（正面玄関） 〇五條地区 大井神社  
神事場（南入口） 川向橋南岸  
高燈籠  
○象郷地区 石井神社  
〇榎井地区 旗岡神社 榎梨神社  
琴平町役場 象郷小学校
3. 終了時間 清掃終了後、午前10時30分までに上記いずれかの場所を目的地として、お戻りください。  
（他の場所には職員がいませんので、厳守してください。）
4. 服 装 清掃作業のできる服装
5. 実施内容 町内一帯の清掃（清掃場所は各自治会や各自で決定してください。）  
雨天中止（小雨で不明の場合は住民福祉課環境衛生係へお問い合わせ下さい。）  
住民福祉課 電話 75-6707
6. その他 火バサミ・軍手・ごみ袋などは用意していますが、ご自身でお持ちの方はご持参下さい。

（ご記入の上当日ご持参ください。）

令和5年度 春季クリーン作戦 参加票	
代表者氏名	電話番号
参加者氏名	最終目的地に○を付けて下さい。
	<input type="checkbox"/> 琴平地区（公会堂） <input type="checkbox"/> 五條地区（大井神社） <input type="checkbox"/> "（神事場） <input type="checkbox"/> "（川向橋南岸） <input type="checkbox"/> "（高燈籠）
	<input type="checkbox"/> 榎井地区（旗岡神社） <input type="checkbox"/> 象郷地区（石井神社） <input type="checkbox"/> "（琴平町役場） <input type="checkbox"/> "（榎梨神社） <input type="checkbox"/> " <input type="checkbox"/> "（象郷小学校）



大切な  
命を  
守るために  
あなたができること

多くの人が自殺によって亡くなっています  
令和2年には、日本で2万1,881の方が亡くなりました。  
(厚生労働省・警察庁「令和4年中における自殺の状況」)

それにもかかわらず、わたしたちは自殺を  
「自分には関係ないこと」ととらえがちではないでしょうか。

つらい状態で悩み、自ら死を選ぼうとしている人が、  
あなたの身近にもいるかもしれません。

大切な人の命を守るために、あなたができることを見つけてみませんか？

# なぜ自殺をするの？ どうすれば防げる？



自殺は**社会問題や人間関係**などが複雑に入り組んで引き起こされると考えられます。

自殺をはかろうとする人は、問題をひとりで抱え込み、「死ぬしかない」と思いつめてしまうことが少なくありません。「本当はもっと生きていたい」「死にたくない」という思いが根底にあったとしてもです。

その背景には、うつ病、統合失調症、アルコール依存症、薬物依存症などの精神疾患の問題が存在していることもあります。

長い人生において、死んでしまいたくなるほどの問題に直面することはだれにでもありうることです。問題が深刻化する前に、はやめに助けを求めることが自殺にいたらないための第一歩です。

## 🌸 自殺のおもな原因

自殺にいたる原因は、複雑に入り組んでいます。周囲がサポートし、専門の相談窓口（裏表紙参照）につなぐことが問題解決のために大切です。

**健康問題** …………… 自殺の原因のトップが「健康問題」（精神疾患や身体の病気の悩み）です。背景には過労などの社会問題や、経済的困窮こんさうなどの問題があります。

**経済・生活問題** …………… 生活苦、多重債務、連帯保証債務、倒産、失業、就職の失敗など。

**家庭問題** …………… 夫婦関係、親子関係の不和、家族の将来を悲観して、家族を失う、介護・看病疲れなど。

**勤務問題** …………… 仕事疲れ、職場の人間関係、仕事の失敗など。

## 🌸 「精神疾患」ってどんな病気？

精神疾患は「心の病気」ともいわれますが、心や精神が弱い人になるわけではなく、おかれた状況などによってだれもがかかるおそれがあります。多くの場合、専門の医療機関（精神科など）で適切な治療をすれば回復します。



## どうすれば自殺をとめられる？

自殺をはかる人は「死ぬこと」以外の解決策を見出せない特殊な心理状態になっています。そこから自らの力で抜け出すことは困難です。

自殺対策は保健や医療、福祉、教育、労働など社会のあらゆる場面で総合的に実施されるべきものですが、まずあなたにできる身近なことは、家族や友達、同僚など身近な人の異変を見過ごさないようにすることです。とくに転職や失業、単身赴任などの環境の変化には要注意です。いつごろから、どのような異変があったかなどの情報は、治療の際にも役立ちます。

### こんな異変に気をつけて！ 自殺の直前のサイン

- 感情が不安定になる
- 性格が変わったようになる
- 興味をもっていたものへの関心を失う
- 食欲がなくなる
- 眠れなくなる
- 自殺をほのめかす

厚生労働省「職場における自殺の予防と対応」から抜粋

## 異変に気づいたら、 どうすればいい？

「どうしたの？」と声をかけてください。自殺を考えている人は、「だれもわかってくれない」という孤独な状態に陥っています。だからこそ、「あなたのことを心配しているよ」と言葉にして伝えることが大切なのです。

そして、相手の気持ちを尊重しながら、話に耳を傾けましょう。じっくりと話を聞いてもらい、肯定的に受け入れてもらうだけで、「死にたい」という気持ちはやわらぎます。聞き終わったあとは「つらかったね」「よく我慢したね」とねぎらいの言葉をかけましょう。その後、専門の相談機関や医療機関（精神科など）等、専門家につなげましょう。（詳細は裏表紙へ➡）

- よい聞き方…話しやすい環境をつくる／悩みを真剣に受けとめる
- 悪い聞き方…話をさえぎる／相手を否定する／安易な解決策を示す





## ● 専門家へつなげる

話を聞いたら、問題の解決につながる専門家に相談するようながします。精神疾患が疑われる場合は、医療機関での受診をすすめましょう。

緊急の場合をのぞき、あなたが別の人に相談する際は、本人の同意を得るようにしましょう。

## 気軽に相談してみよう

### ◇ 精神保健福祉センター

<https://www.zmhwc.jp/centerlist.html> (全国精神保健福祉センター長会)

地域の心の健康を支える機関です。お近くの精神保健福祉センターを探することができます。

### ◇ 保健所

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/hokenjo/](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/hokenjo/) (厚生労働省)

医療や社会復帰に関する相談に、医師や保健師などが専門的な立場から助言します。

### ◇ いのち支える相談窓口一覧 <https://jscp.or.jp/soudan/index.html> (いのち支える自殺対策推進センター)

都道府県・政令指定都市別に相談窓口を探せます。

### ◇ いのちと暮らしの相談ナビ <https://lifelink-db.org/>

悩みや状況、キーワード、相談窓口の条件から支援先を検索できます。

### ◇ こころの健康相談統一ダイヤル おこなおう まもろうよ こころ ☎0570-064-556

全国どこにいても、その地域の公的な相談機関につながる電話番号です。一部実施していない自治体もあります。

### ◇ 支援情報検索サイト <https://shienjoho.go.jp/> (厚生労働省)

こころの悩み、健康の悩み、法律問題など、悩みごとに相談先を検索できます。

### ◇ こころの耳～働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト <https://kokoro.mhlw.go.jp/>

事業者、労働者を対象にメンタルヘルスの情報を提供しています。メール相談を受け付けています。

## ● 専門家へつなげたあとは

自殺をはかる人のなかには、まわりに心配をかけまいと、わざとなにもないように振る舞う人もいます。また、たとえ状況が改善したとしても、自殺したい気持ちがすぐなくなるわけではありません。

専門の相談員や医療機関の受診につなげたあと、「もう大丈夫だろう」と関係を終わらせるのではなく、その後も気にかけて見守ってください。問題解決と休養に専念できるよう、おだやかに対応しましょう。

ただし、見守る側が体調を壊さないよう、まわりの人と協力するなど、息抜きをすることも大切です。各地でゲートキーパー（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人）を養成する講座が開かれているので、参加するのもよいでしょう。



不幸にして身近な人が自殺で亡くなったときに、「どうして防げなかったのか」と自分を責めてしまう人がいます。また、連鎖的に自殺を選びたいという衝動にかられることがあります。不眠や食欲不振がある場合は、はやめに精神科でのカウンセリングが必要です。

# 琴平町文化協会だより

題字 山野辰東

第28号

「これからの舞台発表には車椅子が必要になるのではなか・・」、「指導者が不在となり会の解散を余儀なくされた。これまでに習得してきた知識で高齢に負けずに個人会員として続けて展示したい」という熱い言葉が述べられた。文化祭反省会場での声です。会員の高齢化と減少傾向が常態化している中で嬉しい言葉です。

保育所園児から幅広く九十歳を越える会員が参加する文

高齡者中心の劇団「さいたまゴールデン・シアター」を立ち上げた。団員は五十五歳以上を条件に公募した。八十歳

性の熱演に公演後も会場からの拍手がしばらくなりやまなかった。「歳をとっても意欲があればなにでもできる。



## 青春

琴平町文化協会長 門脇 俊文

化祭。大人の頑張っている後ろ姿が次の世代を育む無言の牽引車です。

演出家の故蜷川幸雄さんが越えて参加した人もいた。猛練習を重ね、後にパリで公演した。平均年齢七十四歳だった。主演した八十二歳の女

強いエネルギーを感じた。」と創設者の蜷川さんが改めて感激したことが、ある雑誌に書かれていた。

ふと、アメリカの詩人サミエエル・ウルマンの書いた「青春」の詩を思い出した。

「青春は人生のある時期を言うのではなく心の様相を言うのだ。あくなき挑戦する心、

小児のごとく求めてやまぬ探究心、齢を重ねただけで人は老いない・・」この一節を思い起こし、思わず膝を打った。



十一面観音菩薩

仏画 大西 浩 (旗岡)

★元日に発生した日本海側全域に及ぶ能登半島地震。多くの被災地で建物倒壊や多くの人々の命が奪われた。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りし、一日も早い復興を渴望します。

★その被災地へ救援物資を運ぼうとしていた海保機と、三七九人を乗せた日航機との羽田空港での衝突事故。日航機搭乗者全員が奇跡的に救助された。日ごろの訓練の成果と、冷静沈着な行動に対して、世界中から賞賛された。

★飛翔の辰年。琴平町の文化の一翼を担う文化協会を目指したい。





**随想**

**目柳燕石翁の生涯**

今井 義明 (旗岡)

先日、琴平町榎井にある呑象楼を案内した時、ふと、思いうかんだのが日柳燕石翁の生涯の事である。

江戸時代末期の志士で讃岐国那珂郡子松郷榎井村字旗岡(現琴平町榎井)の出身で幼名を長次郎、のち耕吉。

学問、書、絵画、詩文を学びながら侠客としてまちを守り、一方では花柳界との人脈をも広めて、吉田松陰の門人仲間から長州の志士を中心に有名人たちとの交流。又、長崎へも行き、外国の事を知るために多くの文化人たちとも知り合った。

一八五三年(燕石二十七歳)榎井と琴平の境にあるお寺興泉寺の住職郭栄和尚の隠居所に移り住み呑象楼と名付けた。

酒をのんでいた時に、盃に金毘羅宮がある象頭山がうかんで見えた。象頭山をのみほす大きな心意気、気概を示し名付けた。

又、長州の桂小五郎、高杉晋作をかくまっていたが、自由な生活をしていながら、自由な生活を送っていたが、獄中生活を送る事もあった。又、長く従軍をして五十二歳で柏崎で生涯を終える。

ただ国の事だけを思い、自分のことは少しも言わなかった反面、千人を超える郷党浮浪の首領となり、博徒の親分としても知られている。

又、勤王の志が非常に厚く、天下の志士と交わり、国事に私財を投じ尽力した。

琴平町の身近にある歴史的な呑象楼に愛着や誇りを深め、琴平町に住める幸せを、偉人に対しては誇りを深め、後世に語りつづけるのが大切かと思う。そんなある日の回想である。



第四十二回 作品展示 11月2日～12月12日 ACTことひら  
 芸能発表 11月19日 琴平町文化会館

# 琴平町文化祭

「健康は趣味もつ暮らし初化粧」  
 コロナも五類に移行しつつある  
 つ普段の生活に戻りつつある  
 二〇二三年は日本中が湧いた。  
 WBC野球が世界一、バスケット、バレー等、たくさん  
 のスポーツで好成績を上げ私  
 たちに勇気と感動をくれた。  
 こんびら山の紅葉も色づき  
 始める、ことひらに文化の  
 秋が訪れる。

第四十二回琴平町文化祭が  
 令和五年十一月二日(木) A  
 CTことひらで作品展示開催  
 開会式には川上副町長、篠  
 原教育長、山神議長、氏家県  
 議、山下、眞鍋、渡辺、森藤、  
 吉田、別所、豊嶋、寺岡、堀  
 家各町議などご来賓のご出席  
 を賜り盛大に幕を開けた。  
 オープニングショーはフォ  
 ークダンス・ヒロの皆さん、  
 すぐに覚えられてやさしく仲  
 よしになれる踊り、カントリ  
 ーダンス、テネシーワルツを  
 披露、最後はご来賓、来場者  
 全員で「明日があるさ」を踊  
 り楽しく華やかに幕を開けた。

・一期 絵画。  
 ・二期 文芸、かな吉道、  
 写真。  
 ・三期 琴平町四地区連合  
 婦人会

・四期 教育委員会、茶道。  
 ・五期 切り絵、絵手紙、  
 華道。  
 ・六期 書道。  
 各部門未知の作品に出会い  
 女人と間違え力作もあり難度  
 を上げ発表している事に感動。  
 今日のは小春日和、前日は例  
 年より三十日早い四国山脈に  
 初冠雪今年一番の寒さである。  
 芸能発表は令和五年十一月  
 十九日(日) 琴平町文化会館  
 開会十二時で開催。  
 終日、立見も出るほど多勢  
 の来場者があり、コロナ対策  
 はマスク着用とした。  
 ご来賓の片岡町長、篠原教  
 育長、山神議長、山下、眞鍋  
 渡辺、吉田、別所、堀家、寺  
 岡各町議から祝辞を頂いた。  
 ご欠席の氏家県議からは、  
 「文化芸術の活動は潤いのあ  
 る人生を送るには不可欠であ  
 り披露される人も会場でご覧  
 になる方も楽しい思い出を作  
 って下さい」とメッセージを  
 頂いた。

出演者は、あかね保育園ま  
 つ組、ハッピーピアノクラブ、  
 気功同好会、フォークダンス  
 ・ヒロ、榎井小学校、燕石吟  
 詠会、口舞さつき会、ウイス  
 ボプラスチック、尺八同好会、

こんびら民謡同好会、坂東流  
 住津美会、琴平泰慎吟詠会、  
 こんびら三味線同好会、こん  
 びら民謡保存会、琴平婦人会  
 民謡部、こんびらコーラスグ  
 ループ。  
 昨年より出演者も多くなり  
 琴、詩吟、日舞など子供達の  
 出演は大きな拍手喝采を浴び、  
 伝統芸能を継承する若い担い  
 手も育成されていくと実感。  
 出演者一人一人が直向きに  
 舞台上に上っている姿に感動。  
 最後は小栗酒の長兵衛、三  
 日天下と言われた明智光秀五  
 十四歳の生涯を見事に演じた。  
 フィナーレは恒例のこんび  
 ら舟々総踊り、会場からは拍  
 手が鳴り止まず素晴らしい手  
 作りの舞台の幕が下りた。  
 令和六年一月一日能登地方  
 の大震災一日も早い復興を願  
 うばかりである。そして今も  
 世界各地の戦争から多くの命  
 が失われている。子供達が希  
 望の灯りに向かう笑顔を！  
 来年も元気で東の空に昇る  
 朝日のように明るい作品、舞  
 台を期待している。



第42回  
**琴平町文化祭**  
 展示部門  
 11月20日～12月12日(火)  
 (木)  
 作品発表 11/19日  
 文化会館





### パステルセブン

門脇先生ご指導のもと、四季折々の移り変りを感じながら感動した場所を選び、風景を水彩画で描写している。同じ場所でもスケッチしてもそれぞれ感性が進って面白い。先生の適切なアドバイスのメンバーも年を重ねたが、今まで培ってきた仲間とのコミュニケーションを大切に、継続したいと願っている。

第二・第四火曜日午後一時から榎井公民館で練習。  
第二・第四金曜日  
十三時三十分より十五時  
(山本 美恵)

### 象頭かな書道同好会

昨年に引き続き、万葉集の世界を学んだ。作品のできれば、一喜一憂しながら、褒め上手な先生や仲間を支えられ作品が仕上がった時の喜びは格別だ。今年は仲間が二名増えた。練習の合間のストレッチ体操、健康講座と楽しいおしゃべりで、時間があっという間に過ぎて行く。

第二・第四火曜日午後一時から榎井公民館で練習。  
第二・第四金曜日  
十三時三十分より十五時  
(山本 美恵)

### 尺八同好会

近年、邦楽の世界は少子高齢化とコロナ蔓延で行事は長期休業。会員の減少から組織の合併、変更し拍車がかかっている。そんな中にあっても、今年一月二日、普通寺市の讃岐宮護国神社にて「吹き初め」を皮切りに、都山流四国支部連合会徳島演奏会など各種行事に積極的参加。切磋琢磨、頑張りたい。

(今田 一義)

### 目舞さつき会

今年で会を立ちあげ二十二年、いろいろな経験をして人生に彩りを添えた。毎年文化祭で一年間の練習成果を披露。曲の主役を演じ全神経を集中させる五分間。楽しみにしてくれる人もふ



今年で会を立ちあげ二十二年、いろいろな経験をして人生に彩りを添えた。毎年文化祭で一年間の練習成果を披露。曲の主役を演じ全神経を集中させる五分間。楽しみにしてくれる人もふ

### ハッピーピアノクラブ

卓上のキーボードピアノでシール付き鍵盤と、ふりがな付きの楽譜からスタート。指先を使い、脳の活性化になる。一曲弾けるようになる。皆さんも楽しい時間を一緒にしませんか。

まずだ真由美先生ご指導。毎月第一、第三火曜日。総合センターで。十三時三十分から練習。  
(大西 喜美子)

え喜んでくれるとうれしい。練習にも力が入る。木曜日のお稽古を覗いて見て下さい。  
(星月 茂美)

### ペン画教室

教室では昨年より、えんぴつ技法から、今までのことがない昔ながらの「からす口ペン先」を使う、ペン画技法を少しずつとりいれている。いま以上に光と影のコントラストを強く表現し、新しい個性あふれる作品が生まれるであらう。

今年も充実した楽しい時間にした。  
(小野 昭美)

### 燕石吟詠会

大正八年、《燕石会》発足。昭和三十八年、日柳燕石作の詩を吟じて、遺徳を偲び顕彰しようと、吟詠会を発足した。当時は、香象楼で練習し、榎井小学校の講堂で、県下の二十三団体が参加する吟詠大会を開催した事もあった。現在は、榎井公民館で少人数ながら活動を続けている。

(鈴木 浩)

### こんびら三味線同好会

秋の文化祭恒例のフィナーレ《こんびら舟々》は、コーラス、三味線、奏場者全員での総踊り。楽しんで、この町で生まれ、元気に過ごした飲びと感謝の気持ちでいっぱいである。

三弦と尺八の練習、毎月第一・第三土曜日。午後一時から町文化会館で  
(和氣 千恵)

### こんびらコーラスグループ

団員は二十五名(男性九名女性十六名)の混声合唱団。合唱とオペレッタを練習。昨年三月に第九回《あすなるコンサート》を開催し、十一月には町の文化祭に出演した。こと二月には縁歌音楽祭に参加。毎週金曜日の午後八時から十時まで、町文化会館で練習。入会歓迎!

(亀山 昌子)



ようやく、コロナ禍以前に近い活動が出来るようになった。毎週金曜日、午後一時半から文化会館和室にて、まず一時間ほどかけて身体中の様々なツボや、経絡をほぐし、その後、気功・太極拳などをしている。帰りは体が軽くなり、一週間の疲れがとれるようだ。  
(森 悦子)

### 気功同好会

毎週月・木曜日  
十三時半より  
文化会館に於て  
(井澤 光枝)



- |                             |          |          |          |          |            |             |             |               |             |            |             |
|-----------------------------|----------|----------|----------|----------|------------|-------------|-------------|---------------|-------------|------------|-------------|
| 令和五年度<br>琴平町文化協会役員<br>(順不同) | 会長 門脇 俊文 | 副会長 鈴木 浩 | 監事 今田 一義 | 顧問 片岡 英樹 | 常任理事 石川 和子 | 美術部理事 小野 昭美 | 去能部理事 大西喜美子 | 生活文化部理事 内田 久忠 | 文芸部理事 佐野千代子 | 事務局長 川上喜久子 | 事務局次長 横関寿真子 |
|                             | 川上 泰     | 山野 弘子    | 堤 晶子     | 川上 泰     | 今井 義明      | 西山 栄子       | 草薙 麗子       | 萩田 冷子         | 佐野千代子       |            |             |
|                             | 氏家 孝志    | 藤原 好宏    | 今田 一義    | 片岡 英樹    | 大西 義夫      | 山本 美恵       | 國重カヨ子       | 白川サヨ子         | 佐野 容子       |            |             |
|                             |          |          |          | 藤原 好宏    | 黒川知恵子      |             | 早月 茂美       | 白川サヨ子         | 森末 和枝       |            |             |
|                             |          |          |          | 氏家 孝志    | 佐久美子       |             | 造田不二子       | 西谷 律子         | 渡辺佐和子       |            |             |
|                             |          |          |          |          | 坂東 櫻子      |             | 中田 善子       | 森 悦子          |             |            |             |
|                             |          |          |          |          | 堀家 七子      |             | 三原 祐子       | 森口 励子         |             |            |             |
|                             |          |          |          |          | 森 登美子      |             |             |               |             |            |             |

### こんぴら民踊同好会

全国津々浦々の伝統ある民踊を、先生は分りやすく教えてくださるが、私たちはなかなか覚えられない。でも、みんなと踊っていることが楽しくて、つい歳を忘れていく。今年の文化祭では、民踊の中では難しいと言われる、黒田節をマスターして発表。今までに無い充実感を味わった。幸せである。

(秋田 冷子)



琴平町文化祭



### 山野書道教室

今日も友人と一緒に覗き向かう。九成宮醜泉銘は三年半。鋭い線やスピード感も出す。時々、漢詩や実用書もはさむ。墨の香の中、筆を動かすと心も落ち着き、私にとつてかけがえない時間である。練習は

水曜日午後  
土曜日午後  
日曜日午前  
(石塚佳津代)



### 切り絵同好会

私たちの切り絵同好会は、毎月第一、第四水曜日十時から二時間、町総合センターで仲間たちと色々、批評し合いながら練習している。散歩先での花や野菜、旅行での建物や人物、新聞の切り抜き等題材は何でもよい。文化祭等の展示を楽しみにしている。皆さん、仲間になりませんか。

(渡辺 佐和子)



琴平町文化祭

### 木もれび

生きて来た証は山ほどある。傘寿過ぎの初心者だった。私も書くことを誘われた。体裁も技術も要らない。思うまま、につづる。所感を記すのは心の解放につながることもある。喜怒哀楽の追憶でもよし。また、断捨離の動機にもなる。冥土の土産をもらった。一度一緒に何かを書いてみませんか。

(石崎 香代子)



### 絵遊会

毎月第二、第四水曜日。午後六時三十分から、おしゃべりをしながらのアットホームな雰囲気の中で、絵手紙や切り絵の作品を作っている。心を落ち着かせ、自由に表現する。出来上がったときの喜びや達成感を感じながら、生き生き伸びのび、力強い作品作りを心がけている。

(秋山 千鶴子)



琴平町文化祭

### ウイスポ フラスタジオ

金刀比羅宮例大祭の奉納や文化祭、ウイスポ十九周年祭など、発表する機会が増えて、以前のように活発な活動ができた。会員も徐々に増え、楽しく新曲を次々と練習し、次回の発表に向けて活躍している。

(三原 祐子)

### 坂東流佳津美会

少しずつ発表の機会が増えてきた。琴平の文化祭は、いろいろな芸術の方とふれあうことができとても勉強になる。今回は、初めて舞台を経験した子供もいてとても温かい拍手に励まされた。これからも伝統文化である日本舞踊を広めていけるよう、お稽古に精進してまいりたいと思っています。

(坂東 櫻子)



### 若藤会

昨年、歌舞伎役者になったいる中村梅寿さんの地元に戻ったの公演があり、大変感動した。お師匠さんが、出口で帰りのお客様のお見送りをしているのを見て、梅寿さんのことを大事に思っているなと思った。子どもたちも出演し、日ごろのお稽古の成果を発表することができた。

(森口 勵子)

### 四地区連合婦人会

「みんなの俳句」は、結成三年目。今回は四十一名の参加。各人年間三句の提出。三宅久美子先生の指導のもと、一句を選句。会員に発表し感謝デーや文化祭に展示している。会員は生活の中で心の琴線に触れた瞬間を作句している。自宅で作る楽しみの一つであり、絆を感じる活動でもある。

(池田 町子)



### こんぴら民謡保存会

琴平婦人会民謡部と一緒に練習している。中田先生のしなやかさを見て、くり返しお稽古している。今年は一「東京音頭」も加わって楽しく踊れた。お十日の神事場の舞台や、琴平町文化会館での発表会に参加した。

(眞鍋 勝美)

### 随想

#### 清少納言衣掛の松



田中 君子 (宋町)

道である。高校生の時は電車で通学していた。自分の降りる駅をすぎたからと言ったら、綱を引つぱると運転手にチンチンと伝わり止まってくれる。それでチンチン電車と呼ぶ。長閑な時代である。

現在の松は二代目。最初の松は枯れる。清少納言は中古三十六歌人の一人である。和漢の学に通じた才女で、紫式部と並び、一条天皇の皇女正子に仕える。(枕草子作者、清少納言)空は青、山は百花繚乱である。この晴れの日を見送す駅に、ヘルメットの白になってる帽子を被り、清少納言の前庭に着く。自転車止め、ちよっと一眼。這むすびをほうり沢庵をポリポリと、なんとおいしこと。

前庭には蓬、大葉子、土筆、ハコベ、ねじり花、干振。(着ると暑く脱くと寒きつくしんぼ)山風の中にもありし春の綺麗、清少納言の松の裏は電車

生家には羊が乳用として飼われ、毎朝親が前庭に連れて行く。絞った乳は臭く鼻をつまみ一気飲み干す。前庭は子供の遊び場である。親たちは三台の織機で俵、塩などを入れる藁でむしろを織る。頑張る忍の一字である。二百羽の鶏舎三種の餌やりも大変。野菜をチョップパリーでみじん切り、家族全員の仕事である。子供心に農家は嫌いと思つたことがある。でも御八つ八つ時に食べるから午後四時、お三時、南燭、山桜、枕杵、無花果など廻りにはたくさん自然の食がある。振り返れば八十路坂である。入退院の繰返し、声もしわがれている。でも生かされている。このしあわせを杖にしている。毎週三回の詩では楽しんであり、声のないバクバクの吟。先生や皆さんの温かい輪の中で頑張っている。しあわせをありがとうございます。

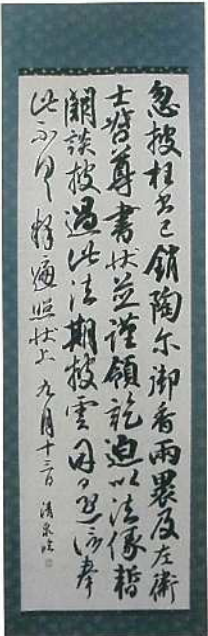


琴平町文化祭

### 紙上作品展



水彩画「ヤブラン」  
山砥 悦子 (歳中)

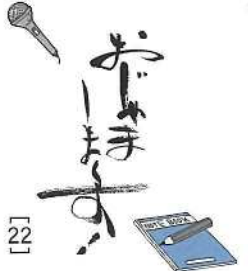


書 風信帖「忽披帖」  
(空海書)  
山野 清泉 (西山)

お正月気分が残る小正月、総合センターで、初稽古をしている華道教室におじゃましました。

御指導は片桐美恵子先生。早春の花はあじさい、すかし百合など花材を説明し、人ひとり丁寧に指導される。コロナ流行時に三ヶ月程、お休みしたが教室を開くことができるようになって、うれしいと喜びを語っておられた。生活に潤いをもたらすお花、玄關にも活かせるお花はその家人の人格がしのばれる。「野の花一輪でよいので入れるように」と、お話を聞くことができました。

### 華月流華道教室



この教室の会員さんは、季節の花をいつも琴平町総合センター二階飾り台に活けて下さっています。

(横)



**平和な世界へ**  
琴平町立琴平中学校  
三年 井出 明連

先日、テレビでG7広島サミット開催というニュースを見ました。G7サミットとは、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・カナダ・イタリア、そして日本の七か国の首脳が一堂に会して行われる国際会議です。五月二十一日の会議では、「平和で安定し、繁栄した世界へ向けて」を議題に話し合いが行われました。核兵器のない世界の実現に向けた現実的な取組を進めることが喫緊の課題であるという内容です。特に、ロシアの核兵器による威嚇について、岸田首相は「断じて受け入れられない。不当でいわれなき侵略戦争に対して團結して立ち向かう」と述べられました。そしてそれは、世界中の国と生きるすべての人々の総意だと思います。

それでもこの秋、新たな戦争が海外で始まってしまいました。戦争を無くそうとする人々がいる一方、戦争がなくなる気配はありません。遠い地での出来事と思いき、自分事として考えられない人が多いかもかもしれません。しかし、それは私も例外ではないはずです。そこで私は今おきている「戦争」というのを知りたい。戦地の人々の思いを知るため、昔のことをよく知る祖母に話を聞くことにしました。

すると祖母は、彼女の父、つまり私の曾祖父について話を始めました。

祖母の父は第二次大戦中、戦地に赴き、奇跡的に生還した兵士の一人でした。そんな彼が海軍に所属していた当時の思いを手記に残していたそうです。彼は当時兵士になるには体重が足りていませんでしたが、強い意志で海軍に志願し、佐世保海兵団へと入隊しました。しかし、国のために入隊した先で、野蛮な制裁を受けた日々が続きました。度重なる精神的肉体的暴力に、いつそ死んでしまおうかと思ったこともあったそうです。しかし、故郷を出る白

分に、大勢の人が万歳を送ってくれたことを思い出しては辛抱しました。ただ、新兵の中には自ら死を願う人もいました。

そんな過酷な状況の中、事件が起こります。昭和十九年三月一日、魚雷攻撃が直撃し、彼は海に投げ出されてしまったのです。生き延びるため四時間もの間必死に泳ぎ続けましたが、浮揚物に掴まれました。目の前で海の底へ沈んでいく多くの同年兵の姿もありました。あまりの体験に九十七歳になったときも、まだその光景が自分を苦しめるのだと語っていたそうです。

私はその話を聞いたとき、戦争では私たちの尊い命はこんなにも粗末に扱われるのだと驚愕しました。兵士たちは死ぬとき、どんなことを思ったのでしょうか。大切な人ともっと一緒に暮らしたかった、平和な日常を奪い去った戦争などなくなつてしまえばいいのに、そう思ったのではないのでしょうか。



戦争は、現代の私たちにリアルなものとして想像がつかませんが、大切な家族や日常が突然奪われる悲しみは計り知れません。戦争はいかなる理由があろうが、この世に存在してはならないと、私は思います。戦争を根絶するために、私たちにできること、今すぐ、子どもたちの私にもできること。

まずは身近な家族を大切にすることが、一つから始めようと思います。同時に、戦争について今までの出来事を正しく知り、これからのことについて考える機会を増やすこと。そして、自分の手や孫に、戦争を起すことにはならないと引き継ぐこと。平和のバトンをつないでいくことが大切だと思います。個人力では大きなことができませんが、一人一人が戦争について深く考えることが、少しずつ平和な世界に向かう力になることを信じています。



入会のおすすめ  
こんぴらの文化を広め  
さらに高めましょう

会員募集中  
(年間会費)

- ・個人…………… 1,000円
- ・団体…30人まで 3,000円
- 31人以上 5,000円
- 101人以上 10,000円
- ・申し込み先

琴平町教育委員会事務局内  
琴平町文化協会  
(75) 6716

アクト  
**ACT** こんぴら  
令和5年の利用状況  
(令和5年1月～令和5年12月まで)

期 間	展 示 内 容	
1月5日 ～1月16日	凧展	692人
1月20日 ～1月30日	琴平高校芸術祭	205人
2月3日 ～3月4日	ひなまつり展	888人
3月9日 ～3月28日	こんぴら絵図展	450人
4月1日 ～4月20日	「冬・冬・冬」松下博行写真展	279人
4月23日 ～5月14日	ACTことひら収蔵展 (書・絵画)	229人
5月18日 ～5月26日	善通寺仏画教室作品展	230人
6月5日 ～6月17日	写団KEN写真展	528人
6月20日 ～7月8日	富田紀久子 借耕牛展	490人
7月11日 ～8月1日	絵手紙展	333人
8月4日 ～8月6日	原爆展	95人
8月14日 ～9月15日	琴平の祭り写真展	1,062人
9月21日 ～10月7日	ビーチクラブ切り絵展	168人
10月9日 ～10月11日	金刀比羅宮例大祭奉賛 華展・お茶会	182人
10月13日 ～10月30日	都村恵佳 油彩画展	244人
11月2日 ～12月12日	第42回琴平町文化祭 (作品展示の部)	958人
12月14日 ～12月18日	第42回琴平町文化祭 展示第6期延長	84人
12月22日 ～12月25日	歳末大売り出し抽選会場	1,331人
12月26日 ～12月27日	新春寿ぎ展	36人
		合 計 8,484人

新型コロナウイルスの感  
染爆発宣言から四年、あら  
ゆる面で世の中が混乱して  
いた頃を思うと、コロナの  
5類移行により、以前のよ  
うな日常生活ができてい  
ることに感謝です。



雑 報

大伴家持

新しき年の始の初春の今日  
降る雪のいや重け吉事  
家持の希望あふれる新年の  
歌で万葉集は閉じるのである。  
彼は万葉集の編集の中心人物  
とも言われている。

防人の歌も部下に歌を集め  
させ、秀歌八十四首、出身地  
名前も克明に残している。彼  
らの悲痛な歌に接し、家持も  
防人になったつもりで多くの  
長歌、反歌を詠んでいる。防  
人たちの貧しい食事に同情し  
てか、度々宴会を開いている。  
宴会好きは梅花の宴の父旅人  
の血を引いているのかもしれ  
ない。最後の歌の因幡(鳥取)  
でも、新年にあたたかい料理  
と酒がふるまわれたであろう。

(山)

編集委員

◎門脇 俊文

大西 文子

川上喜久子

為廣 幸子

堀家 七子

山野 弘子

横関寿眞子

(◎印は編集責任者)

発行日 2024年(令和6年)3月10日  
発刊所 香川県仲多度郡琴平町榎井891-7  
7766-0004 琴平町教育委員会事務局内  
琴平町文化協会  
TEL 0877-75-6716  
FAX 0877-75-4120  
編集兼発行者 門脇 俊文

編集部一同

「人が住むところ道はできる。  
その道、長く結びついて、  
金毘羅までのびている。  
人は金毘羅五街道と呼ぶ」  
何時何処で何方に教わった  
か覚えがない。けれど  
この道、山を削り、川を塞  
ぎ止め、田畑を潰して作られ  
たのではない。永く遠い幾星  
霜自然に往き交った道である。  
伊予土佐街道・阿波街道・  
高松街道・多度津街道。  
そして、丸亀街道は、金毘  
羅宮高燈籠回りからゆるやか  
に東方北上している。  
自動車でゆっくり走って、  
十五分くらい。下櫛梨は令和  
琴平町のまちはずれである。  
新春七日正月。風穏やか。  
下櫛梨六百十二番地あたり  
左に折れ、中部浄水場を右に  
見て西方向、住宅団地へ曲る。  
神櫛王御座します丸山登る。

②6 こんぴら散歩

櫛梨神社 辺り  
(象郷下櫛梨)



「神櫛王」景行天皇十七代の  
皇子であり、勅命により、南  
海の悪魚を退治し、この地に  
留まり治めたという、けれど  
古い神代のこと故、確証なく  
伝説とされているが、里人は  
固く信じて疑っていない由。

「護摩堂」木食上人は寛政八  
年京都生れ、五十五歳のとき  
金毘羅丸亀街道下櫛梨に護摩  
堂を建て不動明王を祭った。  
明治六年西讃騒動で焼失。  
〔日鏡灯籠〕火袋が丸い輪に  
なっている。木食上人の信奉  
者で岡山の人たちが寄進した。  
櫛梨神社参道に一基残存。

善通寺市大麻町中土居差  
点を真東へ通り抜ける県道は  
琴平町上櫛梨・下櫛梨の境界  
線になるだろう。創価学会の  
清楚な佇まいの前を通りすぎ  
るとまんのう町善通寺市丸亀  
市のマーケット街が展開する。  
平成九年刊行「町史ことひ  
ら」では、神櫛王遺跡を神代  
時代の伝説と表記しているが  
里人たちは疑っていない。

ここに被戸社を祀り、船櫛  
大明神と言う。  
櫛梨神社まえの山道を左に  
登れば山頂に櫛梨城(別名日  
ノ出城)跡が在ると言う。(堀)



校長 水兼 博士

今年度も地域の皆様方には本校を気にかけていただき、同時に、様々な場面でご支援ご協力を賜り、誠に感謝いたしました。今年度も三月一日には、第七十五回卒業証書授与式を執り行い卒業生を送り出すこととなりました。

五月の連休明けに新型コロナウイルス感染症が第五類に移行されたことにより、学校は従来の日常をほぼ取り戻すことができました。九月に実施した琴高祭は四年振りには制限をつけることなく一般公開を実施し、保護者のみならず卒業生や近隣の方々にも来校していただき、生徒作品を鑑賞してもらったり、各クラスが工夫を凝らしたイベントに参加してもらったりすることができました。また、昨年度は中止という苦渋の決断をせざるを得なかった、「異種武道大会」と「文化部等公演会」を今年度は予定通り実施することができ、剣道対なぎなたの白熱した試合、吹奏楽部の演奏や郷土芸能同好会の演舞等を披露するなど、生徒・職員ともに満足のおく学校行事となりました。さらには、保育・福祉系で学ぶ三年生が南こども園で実習させていただいたり、琴平道において(株)こんびら堂様にコラボをさせていただいたり、琴平町や地域の皆様からのご支援には感謝の言葉しかございません。今後生徒たちにはのびのびと学校生活を送り、学習や部活動、生徒会活動等に励んでもらいたいと思っております。

さて、昨年九月にご心配をおかけしました本校の食堂ですが、現在は復活し、毎日生徒が楽しみにして利用させていただいております。その際にも、地域の皆様から何とかしてあげなければとご心配の声が上がっていたと聞き及んでおります。その内のお一人であり、本校同窓生でもある方のご尽力により、昨年十二月から食堂の営業が始まり、生徒たちに好評で以前よりも利用数が増えていると聞いております。このように、皆様に本校を大切に思ってもらっていることを日々感じ、大変有り難く思っております。そのお気持ちに少しでもお応えできるような、今年度もクリンアップ大作戦や小学校での薬物乱用防止教室の講師に取り組みなどしてまいりました。また、新たに琴平町開催の「スマホサロンもしも」にも協力させていただき、これらの活動を通して、生徒たちは教室では得られない学びを行い、将来の糧となる貴重な経験を積んでおります。この「琴高通信」を通して日頃の感謝の意をお伝えいたしますとともに、今後とも本校の教育活動に対しご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 高 琴 高 通 信

第26号

香川県立琴平高等学校  
香川県仲多度郡  
琴平町142-2  
電話0877(73)2261

## 令和5年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

**剣道** 男子 個人 8位(井上康太郎)



**なぎなた**  
団体 5位(垣内泉澄・今井咲里  
・加藤希愛・宮本音々  
・山下倅加・新崎日菜  
・橋本凜子)  
個人 5位(宮本音々)  
演技 5位(今井咲里・宮本音々  
(加藤希愛・垣内泉澄)

## 令和5年度四国選手権

**剣道**  
男子 団体 準優勝  
(井上康太郎・新名亮夫  
・北山修悟・須和栄心  
・片桐陸叶・新名海人  
・多田羅誠)  
男子 個人 第3位(井上康太郎)



**なぎなた** 個人 優勝(宮本音々)



## 令和5年度県総体

**剣道**  
男子 団体 優勝  
(井上康太郎・新名亮夫・北山修悟・須和栄心  
・片桐陸叶・新名海人・多田羅誠)  
男子 個人 優勝(井上康太郎)  
準優勝(新名海人)  
第3位(片桐陸叶)  
女子 団体 準優勝  
(北野莉子・福井 花・小塚七夕美・泰田愛海  
・井口こころ・谷愛美奈・山神 岬)  
個人 第3位(北野莉子)



**なぎなた**  
団体 優勝(垣内泉澄・今井咲里  
・加藤希愛・宮本音々  
・山下倅加・新崎日菜  
・橋本凜子)  
演技 優勝(加藤希愛・垣内泉澄)  
2位(今井咲里・宮本音々)  
個人 優勝(宮本音々)  
2位(垣内泉澄)  
3位(山下倅加)(今井咲里)

**紙面の紹介**

- ◆ 一面 インターハイ・四国選手権・県総体
- ◆ 二面 県総体・県新人大会・特別国体・全国予選・コンクール
- ◆ 三面 異種武道大会・文化部等公演会・スマホサロン・薬物乱用防止教室
- ◆ 四面 こんびら船々in神戸・食堂再開・クリンアップ大作戦・琴高芸術祭



**異種武道大会**

十二月十三日、剣道部となぎなた部による異種武道大会が開催された。二年振りとなる今年度は、保護者や地域の一般の方が観戦に訪れて真剣勝負を見守った。まず、剣道となぎなたについてそれぞれの技の違いや対戦ルールなど実技を交えた説明が行われた。気合いの声を出して攻め方を駆け引きする様子は緊張感があり、気迫溢れる真剣勝負に魅了される大会となった。白熱した試合の結果は、剣道部が一勝五分けで勝利し、通算成績は剣道部の九勝六敗となった。



**薬物乱用防止教室**

十月三十一日、まんのう町立仲南小学校で行われた「薬物乱用防止教室」で、二年生八名が講師を務めた。講師の生徒は一年生の時から教育講座を受講しており、小学生に対して写真や説明でわかりやすく薬物乱用の危険性について伝えた。



**文化部等公演会**

十二月十四日、文化部等公演会が行われた。保育・福祉系の生徒が、手話を使う人が増えてバリアがなくなるようにと意思を込めて練習した手話コーラスを披露した。また、書道部は今年流行ったものをパフォーマンスで表現し、他にも郷土芸能同好会の演舞、チャリデーイングのダンス、吹奏楽部による演奏で会場を盛り上げた。



**スマホサロもしもし**

一月二十三日、授業「生活と福祉」の一環で三年生保育・福祉系の二十二名が琴平町企画防災課主催の「スマホサロもしもし」に参加した。スマートフォンでの扱いに慣れた高校生が、参加している高齢者の方々に使い方を教えたり、質問に答えたりした。「すごくわかりやすくて助かった」「元気がなった」などの声をかけてもらって生徒たちの励みになったとともに、高齢者の困りごとに対応する貴重な経験となった。



**令和5年度県総体**

**弓道**

男子 団体 3位 (横田琉翔・嶋田光陽・家田 稜・森内瑠蘭・杉本篤哉・佐々木優弥・嶋田晴陽)  
女子 団体 準優勝 (日裏菜奈・門田柊紀・藤田有里・真鍋 碧・宮武志織・田村玲奈・藤澤羽蓮)

**令和5年度県新人大会**

**剣道**



男子 団体 準優勝 (新名海人・三好光輝・大西立晏・多田羅誠・千葉晴斗・林 雄大・横山弦司)  
個人 準優勝 (多田羅誠)

**なぎなた**



団体 優勝 (宮本音々・山下倅加・新崎日菜・橋本凜子・小西 雅)  
個人 優勝 (宮本音々)  
2位 (山下倅加)  
3位 (新崎日菜)  
演技 優勝 (山下倅加・宮本音々)  
3位 (小西 雅・新崎日菜)

**弓道**



男子 団体 3位 (家田 稜・嶋田光陽・射場悠叶・横井 翔・嶋田晴陽・佐々木優弥・森内瑠蘭)  
男子 個人 優勝 (嶋田光陽)

**全国高校選抜大会予選**

**剣道**



男子 団体 優勝 (新名海人・三好光輝・大西立晏・多田羅誠・千葉晴斗・林 雄大・横山弦司)

**特別国体(鹿児島国体)**

**なぎなた**

演技 7位 (垣内泉澄・宮本音々)

**第2回こんぴらんにくフェスタ料理コンテスト**



優秀賞 松宮春花  
吉田想音  
町長賞 岩崎梨音那  
会長特別賞 白川璃苑  
商工会賞 小塚七夕美  
Mobi賞 高木花純

**高校生お弁当の日甲子園2023**

佳作 藤本知花



**高校生おもちゃ甲子園2023**

審査員特別賞 松宮春花



# こんぴら船々 in 神戸 2023

とらすとKは阪神淡路大震災で被災された方々に手紙を送る活動や、夏と冬の年二回実際に神戸を訪問してゲームやお話を聞くなどの交流活動が続いている。夏の神戸訪問では、七月八日、とらすとKと一緒に郷土芸能同好会の生徒も同行し、地域の方々にこんぴら船々を披露し、楽しく交流した。



# 食堂再開



九月に食堂を委託していた会社が経営破綻し、その影響を受け休止していた食堂が、琴高OBが代表を務める株式会社「森と山」により十二月四日に新しく生まれ変わった。日替わり弁当の他、カレーライスやからあげ丼などの豊富なメニューがあり、昼の休み時間だけでなく、放課後には部活動前の軽食販売もある。温かな食事や会話を楽しみながら利用することができる琴高の食堂は、再開へと尽力くださった方々の生徒を想う温かい気持ちがあふれた場所だ。



# クリーンアップ大作戦

十二月七日、今年も一、三年生によるクリーンアップ大作戦が行われた。JR琴平駅周辺、神事場、いこの郷公園などをクラスごとに分担して清掃を行った。地元への感謝の思いを込め、友達と協力しあいながら落ち葉拾いや草抜きなどを行った。お正月に大勢の初詣客を迎える琴平の町を美しくすることに貢献し、大きな達成感を感じた。



# 能登半島地震被災への義援金活動 (生徒会)

一月に校内、JR琴平駅、琴電琴平駅で行った募金は十万円が集まり、日本赤十字社高松支部を通じて、被災地に送られる。

# 琴平高校芸術祭

一月十九日～二十九日、ACTことひら(琴平町立ギャラリー)で琴平高校芸術祭が開催された。各文化部の作品や取り組みの様子、授業作品などが多数展示された。



# 絵本文庫 どり〜む



2024.3.1 発行

## 定例のおはなし会 再開しました！

毎月第3日曜日 10：30～1時間程度 絵本文庫どり〜むにて開催中

※開催日時は変更になる場合もあります。ホームページやチラシ等でご確認ください。



ピクニックおはなし会



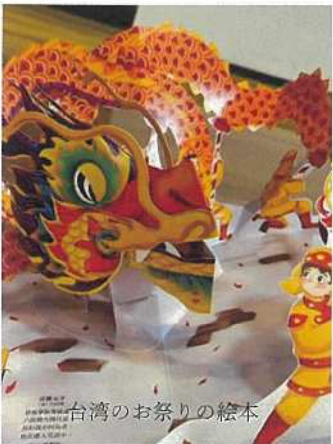
琴平公園にて



夏休み企画 虫取り・観察



月の満ち欠けのおはなし



台湾のお祭りの絵本



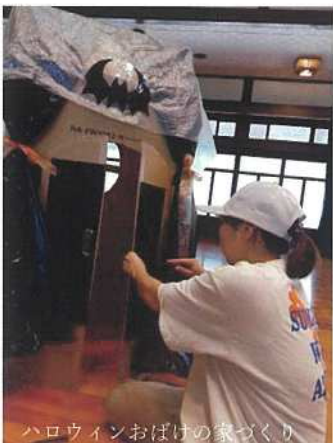
台湾提灯色塗り



第1水曜日 えほんとおそぼろ



ハロウィンスタンプラリー



ハロウィンおぼけの家づくり



南子ども園 読み聞かせ



クリスマス演奏会



お正月遊び (かるたとり)

2023年度は、ようやく子どもたちの賑やかに遊ぶ声も聞こえ、日常が戻ってきました。

新型コロナウイルスの影響で長い間、実施することが出来なかった415のわの定例おはなし会を再開します。

お友達やご家族とぜひご参加ください。

また、2024年度は、恒例の「どり〜むまつり」を開催予定です。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

# 絵本文庫「どり～む」は楽しみがいっぱい！

地域の中で、地域の人と触れ合いながら様々なあそびを体験することができるよう、おはなし会と併せて季節の行事を取り入れています。



Have fun!  
イベントが盛りだくさん！

地域であそぼう！  
手形アートのクリスマスカード

家族で楽しめる場所！

みんなで散歩

## 自然を楽しむ

5月21日 ピクニック

ピクニックおはなし会では、琴平公園までお散歩し、青空の下で絵本を読みました。また、子ども達が摘んだタンゴボの花も観察しました。花びらに見える部分の一つひとつが花で、100個～200個集まっているそうですよ。

## 四季折々の行事

7月2日 七夕飾りづくり

七夕おはなし会では、七夕飾りを手づくりし、短冊に願い事を書きました。また、七夕クイズにも挑戦し、知識を深めていきました。415の活動では、季節の行事を大切にしています。

## 皆であそぼう

8月2日 えほんとおそぼう

毎月第1水曜日に開催の「えほんとおそぼう」夏休みには、公会堂大ホールにて、風船を使ったボーリングや輪投げをしました。みんな工夫しながらチャレンジしていました！

## 自然の中で遊ぶ

8月5日 虫とり・観察会&工作

人気の体験活動「虫とり・観察会」公会堂の庭ではたくさんの草花や虫たちと出会うことができます。自然あそびを通して、興味や好奇心を育むきっかけづくりに取り組んでいます。

「深海の世界」を作ったよ！

## 自然を身近なものに

9月24日 お月見

「お月見おはなし会」では、月にちなんだ絵本の読み聞かせの後、月の満ち欠けを分かりやすく説明してもらいました。自然の仕組みについて学ぶことで、私たちの住む地球や宇宙について身近に感じてくれたのではないのでしょうか。

## 異文化体験

10月8日 提灯絵付体験

台湾文化フェスティバル会場で飾られる提灯の色塗り体験をしました。また、地域おこし協力隊の王さん達から台湾のお祭りなど季節の行事を紹介していただき、異文化に触れることができました。



## 誰もが参加できるイベント

10月22日 ハロウィン

自慢の仮装を披露できるハロウィンおはなし会は人気のイベントです。子どもたちは、スタンプラリーでゲームに挑戦し、お菓子をゲット！また、高学年や中学生が率先して準備・運営に携わり、会場を盛り上げてくれました。

## 異年齢とのふれあい

12月24日 クリスマス・演奏会

琴平中学校吹奏楽部の生徒の皆さんに協力いただき、生の楽器演奏を子どもたちに届けることができました。また、手作り馬拉カスで演奏に参加させてもらい、音楽の楽しさを体験することができました。

## 伝承遊び

1月21日 お正月あそび

凧あげや竹馬、こま回しに羽子板、カルタ取りなど、昔の文化や遊びにふれてもらえるよう伝承遊びを取り入れています。子どもたちは、「こんびらかるた」に挑戦しました。

2023年度 応援してくださった皆さまからのメッセージです。ありがとうございました。

琴平町立南こども園長 武田眞智子先生

驚き！発見！一歳児クラスの子どもが、「だるまさんが」の絵本を読んでほしいと持ってきた。この絵本のどこに惹かれたのか。繰り返しのことばのおもしろさ？挿絵のおもしろさ？保育者自身の声で聞く心地よさ、安心感もプラスされていたように思っている。

先日、本園に図書ボランティアの方が来園し、読み聞かせは「生の声が大切」と話された。そのとおりだと納得している。ことばの意味は分からなくても、読む人の顔の表情や声の抑揚から子どもたちは五感や心で感じている。読み聞かせは、子どもの成長に効果があると信じている。

園の本だなにたくさんの絵本が並んでいる。子どもたちがどの絵本に興味をもつのかを楽しみにしている。

「だるまさんが」  
かがくいひろし作（ブロンズ新社）



【よいこのわ 台湾提灯色塗り体験】 地域おこし協力隊 葉乃方【ヨウナイハウ】さんはじめてよいこのわのイベントに参加させていただき、すごく楽しかったです。子どもたちに台湾のことを紹介し、台湾フェスティバル向けに提灯描きの体験も一緒にやりました。親子で楽しそうにランタンを描いた姿を見て、このイベントをやってよかったですと思いました。また子どもたちに台湾のことを知っていただきたいと思いますので、来年も台湾に関する体験講座を開催したいと思います。



地域おこし協力隊 葉さんと王さん



琴平町地域おこし協力隊 松原徳代さん

ハロウィーンパーティとクリスマス会に参加しました。公会堂の風情ある建物で、いろんな大人に見守られて一緒に会を楽しむ琴平の子たちが羨ましくなりました。子ども時代の素敵な思い出が、心に残り続けていくんだろうな。

大人たちやお兄ちゃんお姉ちゃんが、たくさんの準備をし、一生懸命作り上げた宝物のようなイベントに参加できて、わたしもとても幸せでした。

素敵な空間と時間をありがとうございました。

## Information

ラジオ「お宝ディスカバリー」収録



毎週土曜日9時からオンエアのFM香川「お宝ディスカバリー」のパーソナリティ下舞春希さんが絵本文庫「どり〜む」に取材に来くれました。(9/16放送)

下舞さんの笑顔と元気な声に助けられ、私たちの思いを伝えることができました。

どり〜むの部屋の様子や私たちの活動を皆さんに分かりやすく届けていただき感謝いたします。

下舞さん、ありがとうございました。



大和証券財団「第30回ボランティア活動助成」に応募し、採択されました

この度、公益社団法人大和証券財団様より、「第30回ボランティア活動助成金」をいただきました。私たちの活動を認めていただき、採択いただいたことに感謝いたします。

2024年は、絵本作家さんを招いて「どり〜むまつり」を開催予定にしています。



令和6年1月16日大和証券高松支社で贈呈式が行われました。



415のわ 事務局

琴平町地域福祉ステーション内

0877-75-1371

415nowa.ma@gmail.com

<https://sites.google.com/view/kotohira-415nowa/>



絵本文庫「どり〜む」

琴平町975番地1 琴平町公会堂内  
毎週日曜日・第1水曜日 10:00~12:00

ホームページは  
こちらから



Instagramは  
こちらから



この広報誌は、赤い羽根共同募金の助成により作成しています。

# ことひら まちじゅう 図書館

with 415 のわ

## まちじゅうが図書館になるプロジェクト

琴平町はかつて香川県の図書館発祥の地でした。有志が自分の本で小さな図書館を作って、郷土や文化の継承、身近な場所に誰もが本と繋がる居場所をつくり、町立図書館設立への機運を醸成したいと活動しています。

## 2023年 ことひらまちじゅう図書館の活動を紹介します

- ①4/16 松尾寺で「おはなし」と「わらべうた」開催 語り手 森田有美さん(ことひらまちじゅう図書館館長・おはなし紡ぎの会)
- ②5/4 「うみの図書館」海辺ブックフェス「古本市」に「ことひらまちじゅう図書館」が参加
- ③7/28 ことひらまちじゅう図書館総会を開催
- ④7/30 花井裕一郎氏 ことひらまちじゅう図書館へ
- ⑤8/6 「読売 Life 四国版」に「ことひらまちじゅう図書館」が特集されました
- ⑥8/6 「うみの図書館」から見学に来てくれました
- ⑦8/21 榎井婦人会女性教育学級で絵本の読み聞かせとエコバック工作 講師：ことひらまちじゅう図書館「前田のはいしゃ」館長 前田聡子氏・「ちょっとこ場」館長 嶋田貴子氏
- ⑧9/11 ことひらまちじゅう図書館参加館「五人百姓 池商店」がRNC「ルック〜地域発・輝くビジネス〜」に番組出演
- ⑨10/21 FM香川ラジオ「普通寺・仲多度お宝ディスカバリー」に出演
- ⑩10/22 丸亀市市民交流活動センターマルタスで開催された「BOOK WEEKEND」に参加
- ⑪10/24 図書館総合展(横浜市)で Jcross (図書館の情報サイト) が「ことひらまちじゅう図書館読書手帳」を紹介
- ⑫10/27 「四国シェアサミット 公助から共助へ。地方が主役、個人が主役」に参加
- ⑬11/21 美巧社(高松市の出版社)社長が来函 Web サイト「香川人」で「ことひらまちじゅう図書館」が紹介されました
- ⑭12/13 地域包括支援センター「頭のげんき塾」で回想法
- ⑮1/27 群馬県太田市「おおた まちじゅう図書館長が選ぶ珠玉の一冊展」に参加
- ⑯こんびら朝市 一箱古本市@一之橋公園に参加(第4日曜日)



Since 2017







利用者からの応援メッセージ



一般社団法人日本カルチャーデザイン研究所

花井裕一郎 氏

「本がある」ことで、人と人との交流し、まちを元気にする原動力となります。郷土や生活の営みが愛おしくなり、語りたくなり、また会いたくなるのです。この交流の仕組みこそが、まちじゅう図書館のテーマです。

その中で、ことひらまちじゅう図書館は、民間のチカラで運営をされ、本当に地域発のコミュニケーションツールとなっています。ことひらまちじゅう図書館にある本や資料は、それに触れた方々の教養、知恵です。このことが、様々な絡みを生み出し、琴平町に暮らすこと、訪ねることの楽しさを演出しています。琴平町を輝かせ、縁の深みを表現しています。もっと参加される方々が増え、わくわくが増えますように応援しています。



高松信用金庫 琴平支店

支店長 上原賢治 氏

琴平支店に配属されて2年になります。その間、ビッグイベントとして琴平町・まんのう町・高松信用金庫の三者連携協定を締結することが出来ました。これも町内の様々な分野の方々のサポートがあったからこそ出来たことと本当に感謝しています。何か恩返しをしたいと考えていたある日、まんのう町には図書館はあるが琴平町にはない代わりに各々の店が図書館をやっていることを知り、少しでもお役に立ちたいと思い「ことひらまちじゅう図書館」のメンバーに加わらせていただくことになりました。この歴史と伝統のある琴平町で“本”を通して訪れたひとの心に残る、“また来たい！”と思っただけのような居心地の良い空間と親近感が持てる信用金庫の代名詞“Face to Face”でお待ちしています。



灸まん美術館/和田邦坊画業館

学芸員 西谷美紀 氏

和田邦坊(1899-1992)は琴平町出身の人物です。戦前は時事漫画家、小説家として一世風靡。農事講習所の教員を経て、戦後は香川県職員となり讃岐民芸館館長やデザイナー、画家として活躍しました。琴平を題材にした作品も数多く残しており生粋の讃岐っ子。「もっと郷土のことを知りたい」そんな知的好奇心を満たす図書館は、歴史や文化を繋ぐ場所となるのではないのでしょうか。どうぞ琴平町に図書館を。活動を強く支持します。

赤い羽根共同募金

この活動は『赤い羽根共同募金』の助成を受けて実施しています。

高田 凜太郎様より(琴平町)



山本先生の本が大好きで、借りに来ています。お母さんと二人で本を選んで借りるのが楽しいです。いつか山本孝先生に会いたいです。前に朝4時に目が覚めたことがあり、お母さんが散歩しようと言ってくれたので商店街を散歩していたら急に雨が降ってきました。まちじゅう図書館のベンチまで急いでいき、雨が止むまでの間、お母さんとベンチで本を読みました。トトロみたいでワクワクしました。

五人百姓 池商店図書館 池 龍太郎様より



五人百姓 池商店図書館には、町の子もたちが夏休みの自由研究で訪れたり、琴平にルーツがある方が自分のルーツを探るヒントを探しに来られたことも。また、琴平で働き始める方がまちの歴史を知るために利用されたり、琴平の歴史に興味がある観光客の方々が来られています。「自分が知らなかった琴平の歴史を知れた」「琴平の町が更に好きになった」「琴平という町の深さを知ることができた」などの声を頂いています。

本のご寄贈ありがとうございます

令和5年度(五十音順)いよ本プロジェクト様(伊予市)、大西文字様(琴平町)、片岡孝暢様(まんのう町)、佐藤 幸様(琴平町)、堀家七子様(琴平町)、本と生きよう!読書運動様、N・S様(まんのう町)、R・O様(琴平町) 皆様のご厚意による本のご寄贈に感謝いたします。※寄贈本受付中

編集後記

公立図書館があれば、読書だけではなく皆が気兼ねなく集まれる居場所になります。あらゆる情報を得られ郷土資料の保存や教育も応援できます。人が心豊かに生きるために不可欠です。でも、無いのなら共助の関係で応援。本があれば「まちじゅう図書館」になります。そして公立図書館設立の機運も高めたいです。ことひらまちじゅう図書館代表 嶋田貴子



【プロフィール】

琴平町在住 司書として大学図書館、公立図書館を経て、現在は琴平中学校図書館で勤務。座右の銘「意識の無いところに道はない。どうしたいの？」

お問い合わせ



ことひらまちじゅう図書館事務局

〒766-0004 香川県琴平町榎井 891-1  
琴平町地域福祉ステーション内  
TEL 0877-75-1371  
Mail: k.machitosh@gmail.com

編集発行/  
社会福祉法人  
琴平町社会福祉協議会  
仲多度郡琴平町榎井891-1  
TEL 0877-75-1371  
E-mail info@k-wel.or.jp  
HP http://www.k-wel.or.jp

# 福祉 ことひら



2024

# 3



2 3 4 5  
6 7 8 9

- …【総括】琴平社協の活動を振り返り、これからを考える
- 10 … シャントセナ
- 11 … 善意の寄付・野菜寄付お礼  
切手等収集ボランティア  
共同募金報告
- 12 … 社協職員地区担当変更の写真紹介



懇談者と理事・監事・評議員



令和6年1月16日 開催

## ～ 琴平社協法人化40周年記念懇談 ～

今月の  
特集

【総括】

### 琴平社協の活動を振り返り、 これからを考える

# 【総括】 琴平社協の活動を振り返り、これからを考える

11月発行の福祉「こひら114号」では2000年平成12年頃から現在までの活動について、サロン活動を通してのつながりづくりや地域づくり、専門職と社協との関わりについて、当時関わりのあった方々と振り返りました。今回は、琴平町社会福祉協議会（以下、琴平社協）顧問である大橋謙策先生にもお越しいただき、琴平社協のこれからについて懇談していただきました。



琴平町社会福祉協議会  
顧問 大橋 謙策 氏

**新原** ▶ 今回は最終回ということで、琴平社協の顧問であります大橋謙策先生、片岡町長、理事でもある元婦人協会会長為広さん、自治会連合会会長牧山さんに琴平の未来を語っていただきたいと考えています。

## 社協活動の 発展のきっかけ

**新原** ▶ 琴平社協の転機となったのは「ポラントピア事業」と「ふれあいのまちづくり事業」と考えます。この「ポラントピア事業」から大橋先生に携わっていただくようになりまして。その頃あたりか

ら大橋先生にお話しただければと考えます。

**大橋** ▶ 1986年（昭和61年）に「ポラントピア事業」から指定を受け、これが契機で、琴平町に最初に伺いました。1,000人ほど参加した体育館に、クローラもなく通路に氷柱を置いていました。当時の人口12,000人のところ1,000人集める熱量はすごいなと思いました。特に大事なところで婦人協会が力を発揮してくれたなと感じました。1996年（平成8年）国の事業「ふれあいのまちづくり事業」の指定を受け、1997年（平成9年）「第1回こんびら地域福祉セミナー」を琴平で開催し、私の記憶では600人が参加した熱気あるセミナーとなりました。そこから本格的に社協の活動の発展が始まったような印象



琴平町で600人



琴平社協理事  
自治会連合会会長 牧山 正三 氏

があります。  
**為広** ▶ 先生のご記憶のとおり琴平町に600人の参加者があり、先生は、その頃の元気な町に「必ず高齢化の波が来る」と言われるので、「嘘でしょ」と思っていました。今はそれよりも前に進んでいると思います。

**大橋** ▶ この第1回目セミナーに、島根県瑞穂町（現在は合併して邑南町）の社協事務局局長の曰高政恵さんともう一人、「うんだなーヘルパー奮戦記」の著者である岩手県湯田町のヘルパー菊池多美子さんにも来てもらいました。この方は、「ただ行ってこいヘルパーじゃだめだ、必ず家庭訪問したらニーズキャッチをしてくる。そしてニーズに応えるサービスを開発する」と方言丸出しで話され、会場は沸き返りました。

## 食事サービスを ボランティアの 協力で

**新原** ▶ 琴平社協は食事サービスに力を入れてきましたが、その時に婦人会の力がなければ成り立たなかつたと思います。現在でもお力添えをいただいております。

**為広** ▶ 当時は、老人ホームから食事が提供されていました。総合センターの和室で10〜20人の高齢者が食事をしていました。今でも忘れられないのが、現在の琴平社協会長のお母様長谷川会長から「娘が社協でお弁当を提供するようになったので手伝って」と依頼されたのがきっかけです。それから30年が過ぎ、自分が今度はもう立場になって、生きていくの一番大事なのが食事サービスであるとの認識になりました。ボランティア



琴平社協理事  
琴平婦人会元会長 為広 幸子 氏



アというのは、一朝一夕にはできないことだと強く感じています。

**大橋** ▶ 琴平社協の特色は、ヘルパーさんが自転車です。町内をぐるぐる回ってニーズキャッチのアンテナとしての役割を担っていて、地域の実情を一番把握していたことです。この役割は高く評価しなければなりません。琴平は観光地であつて、ホテルや旅館もあつて一人暮らしの方が生涯最後の就業先として仕事に来ます。その一人暮らしの方の老後の食事の問題がいかに深刻であつたかということ。ちよつど全国的に高齢者の食事について問題提起をされたのが1979年（昭和54年）で、宅配をするようになったのが1993年（平成5年）ということ。宅配をすることで家庭内に入りニーズキャッチできるということ。一般的に自治会や婦人協会が地域のことを一番よく知っていますが、社協自体もヘルパーと弁当の配達で家庭の中に入ることでできるというところは全

国的に見ても強みだつたと思います。瑞穂町の曰高さんも高齢者の食事をしています。高齢者一人で食べるのは寂しいと思ひから、一人暮らし高齢者に向けた合宿を行っていました。遠く離れた子どもたちを頼るのではなく、合宿する仲間が互いに助け合い、そこにヘルパーを派遣するという取り組みをしていました。

**新原** ▶ 現在も続く配食サービスは、婦人会による調理ボランティアや地域住民からの野菜などの食材寄付に支えられて継続することができています。  
**大橋** ▶ 今でも婦人会が調理をしているんですか。

**為広** ▶ 今日当番でした。  
**大橋** ▶ 何人くらい参加されますか。  
**新原** ▶ 火・水・木曜日週3日、一日当たり2〜3人の参加があります。

**大橋** ▶ 何食くらい作ってるんですか。  
**為広** ▶ 今日60食ですが、常に80食くらいです。100食を超えることもありました。コロナ蔓延になって少なくなつたのかな。80食くらいは常に作っています。この経験から先日の出初式でのごん接待に役立っていると思います。たくさん作ることに慣れているという点ですね。

## 地域福祉懇談会を 継続して

**新原** ▶ 食事サービスから職員が家の中に入っていき、何らかのサービスにつながっていくこともありますし、何より毎年の地域福祉懇談会（以下、懇談会）に民生委員や福祉委員、自治会長も参加していただき、一年を振り返って実践内容や課題などを情報共有しています。

**牧山** ▶ 私も地元である金沢町上組の懇談会に参加していましたが、琴平・五條・櫻井・象郷の4つの地区を意識するようになりました。琴平は観光の地区であり、生まれ育つた馴染みがありますが、象郷



地区は「農業が盛ん」とか「家が広い」というイメージしかありませんでした。地区の雰囲気はわからないと社協の中原さんに相談すると、象郷地区の懇談会への参加を勧められ、参加することで雰囲気は理解できました。住宅地図よりも社協の中原さんや地区担当の方がいろいろなことを把握できていると思っています。直接住民と話すということが一番大切だと考えます。この顔の見える関係が、防災においても例えば避難所を開設する時にみんなが顔見知りであればできる程度に住民同士がつながっている程度には住民同士がつながります。自治会としても相互扶助を常に心がけています。

**大橋**▼琴平社協では、1992年（平成4年）に福祉委員の制度を作っています。それまでも民生委員の制度があり、自治会活動も活発でしたが、それぞれが縦割りでつながっていませんでした。それが1996年（平成8年）「ふれあいのまちづくり事業」でつながりました。4つの地区では特徴が違うなど、懇談会で丁寧に行ってきた結果、琴平町は成功しました。ここまでつながっている地域はないんじゃないですか。

**牧山**▼婦人会で為広さんたちが行っている「ひな寿司」、これは良

い実践です。瑞穂町のようにみんなが食事をするわけではないですが、独居の高齢者が多く寂しいところへ、みんなに公平にひな寿司が届けられる。



寿司を作るのは一日だけのことで、準備段階で目に見えない様々なことを調べています。

**大橋**▼福祉というと、点と点をつなぐ個別支援になってしまいます。気を付けないと個別支援そのものが福祉だと誤解してしまいます。地域で暮らすことが目的で、地域という面で支えないといけない。自治会と民生委員と福祉委員が寄り添っている、こういう地域を基盤とした取り組みが全国的に評価されたのだと考えます。

琴平社協は、「まるっと安心サービス」という入院・退院支援をはじめ、死後対応まで行うことをしています。これは、全国の各地でこの必要性があり、琴平社協が先駆けて行っています。家族がいても放っておいてほしい、親族がいても関わらない。こういった事例が全国各地で起こっており、行政が頭を悩ませています。

今、厚生労働省が地域共生社会と言っているのは、「個別支援を通じて地域づくり」と言っています。

まさに琴平はこれを行っています。個別支援は大事だけれども、点と点で広がります。これを「地域で支えてくれる」これは大事なことで、懇談会がきっかけであったのではないのでしょうか。私が全国的に一番最初に大々的にやったのは、岩手県遠野市です。人口2万人の時に、68か所で住民座談会を行いました。正月3日の午後には役所の係長がやってきました。こういった積み重ねが個別支援を通じて地域が変わっていくことになりまして、**新原**▼自治会というキーワードですが、当時は自治会組織率70%ぐ



です。か。**片岡**▼地区が4つあるので、そこに地区担当がいいるのか例えば福祉担当、いろんな担当者が各課から少なくとも出ていくとか、何らかの形でまずは話を聞くというところから始めたらというわけですね。**大橋**▼そうですね。イギリスのロンドンにイズリントン区というのがありまして、サッカーのアーセナルの拠点のところですけれども、そこは人口が16万人の時に、24地区に分けて、地区ごとに直接民主主義的なことをやりました。私も何回か出ましたが、そこは3か月に1回、集会をやって、職員も来る、住民も来る、クラブ・セナルの球場の工事やってクラブが危ないとか「あそこ信響つける」とか、そんな話をみんなやって、別に行政が答弁するわけではないんです、警察官も地域に関わっている人がみんな集まって、この問題はどうだったか話をするといいことなんです。鶴岡の時もそうで、「これは行政に言ったって無理だから地域の住民がやるか」「これは住民でできないから行政がやるか」「これは行政と住民が協働しないといけない」と出てきたカードをきちんと3つに分類します。社協は懇談会をやっているけど、もう少し行政や自治会とタイアップしてみる必

らいては現在50%を切るくらいに状況になっていきます。これからの地域福祉を考えたい時に、自治会は重要な位置であります。組織率が50%になって、これから社協としてどうしていくべきか考える必要があります。

**大橋**▼行政も社協も自治会に丸投げされた住民は、ボランティアでやっているの、負担感がだけ出てしまいます。そこを行政職員や社協職員が少し援助していけば負担感は減ります。去年の10月に沖繩県那覇市に呼ばれて行きまして、なんと自治会加入率は14.8%、それなのに厚生労働省の重層的支援体制整備事業を受けます。重層的支援なんて、自治会の力がなかったらできません。行政も社協も一緒になって実践するとの発想がないといけません。琴平町は約50%のことですが、社協も行政も考えていかなければならないのは、住民に寄り添って住民の負担にならないような支援の仕方をしていかなければなりません。また、地域の人々が高齢になっているので、勉強する機会があって新しい知識や技術を身に付けている人が一緒になって実践するという発想が必要で、町長にお願いしたいのは、各地区担当の職員を置いていただきたい。



琴平町長  
片岡 英樹 氏

社協も同じで地区担当を置く、その間に「住民と一緒にやりましょう」と言わないと、高齢化率が50%の時に今までの感覚で行政は金だけ出せばいいやという話にはならないと思います。

**片岡**▼この自治会の問題というのは、昔は葬式を出すためには、自治会に入っていないと出せないというのが一つの縛りとしてありましたが、町内でも葬祭会館ができて、大きく転換があったというのが、みなさん認識している通りだと思えます。その後、講中といって、神社組織やお寺組織というのが自治会で別だったのが、いつの間にか一緒になったところもあり、自治会をどう考えるかということ、3回関係者が集まり話し合いをしました。問題点はあぶり出されるけれども、出てくるのは、自治会は何のためにあるのかということ、お金の問題。こちらが一番大きくなって、解散してしまうという

な問題が噴出するだろうし、ではそれに代わるものは？ということまで止まってしまっているのが現状です。

**大橋**▼去年7月にさぬき市で四国地域福祉実践セミナーをやりましたが、その時に徳島県上勝町の町長が来ました。その時にすごいなと思ったのが、町の広報を職員がみんな1軒1軒に配って歩いたんです。配ることによって、ニーズキャッチできる。それがすごく大事なことなのだと思います。山形県鶴岡市で、合併前には人口10万人で、ここで住民座談会をやりました。地域福祉計画を作る時に、業者に任せるのではなくて自分たちの手作りでやるよと、133か所で住民座談会をやりました。参加した住民は300人。その参加した住民一人ひとりにどういう困りごとがあるかをカードに書いてもらって、カードは30枚集まりました。農村地域ですから、農閑期の11月の初めから3月半ばまで、雪が降ったり水雨の降る中で夜やったりするわけです、そこに行政職員も社協の職員も民生委員もみんな協力して参加してくれました。だから住民座談会みたいなのを地区ごとに行って、職員も担当だけではなくて、「職員は必ず出なさい」「くらしのことをやったらいいんじゃない

要があります。問題発見問題解決型共同学習、だから問題があったらすぐ行政が何かやれよというやり方ではだめで、一緒にどうする、ということを話し合うこと自体が大切です。結論を出さなくてもいいんです。今、学校教育は結論出しませんが、いろんな見方があるとあって、あれと同じようなことをやらなさいとだめなのではないでしょうか。

**片岡**▼今月町長への手紙として、全世帯の方から私に直接、提言などを持ってきて頂くのがあります。それは個人点と点ですけれども、こうやって集まって話していく中で、学びがあるし新たな情報を得られるし、それをヒントに、これができる、これはもうちょっと待とうとかか我慢しようとかか、お互いに知恵を出し合える場になっていくというのが確かにその通りです。**大橋**▼地区ごとに象郷の集集館みたいなのがあるといいです。そこに集まって、必要な終わってやらみなで食事を作って食べればいいし、お酒を飲んだらいいんだから。そういう自由なところを少し考えてみる必要があるのではないのでしょうか。新潟県十日町市の公民館は、お酒のお燗器というのが置いてあります。雪の豪雪地帯ですから、お酒を飲みながら



協議、協議、協議員を囲んで懇談

ています。そういうのを社協でやってもいいんです。北海道鷹栖町社協協賛協議会では、社協が送迎用のバスを出して、それでみんな集めて飲んでもらってまた送迎用のバスで送り届ける。ジビエの料理ができました。琴平でやってもいいのではないのでしょうか。そういう楽しいことをやらない限り人は集まらないし、元気が出ないです。

**為広**▶今年もひな寿司を3日間に渡ってお配りするんですけど、安否の確認と、そこで見つけた課題を社協に情報提供します。地域の

## 福祉はまちづくり

**新原**▶ここからは、これから地域共生社会ということで、琴平町としてどんな地域になっていきたいのか?どうしていかなければいけないのか、未来をみなさんと語って頂きたいと思っています。

**牧山**▶昭和40年々々から後半にかけて、金毘羅23軒の旅館街が、いつも満杯で、内町、神明町なんかも、1時2時になっても旅館の観光客がドラを着てウロウロして、飲み屋という飲み屋はもう本当によく流行っていました。今の現状を見たら本当に衰退の一路なんです。人口がここまで落ち込むとは、予想もしなかったです。片岡町長も大変だと思っんですけど、明るいニュースが必要です。金毘羅大芝居に懸けるのもわかるんですけど、グリーン作戦とか、金倉川のごみを除けるとか、そういうことできれいな町、グリーンな町、琴平でお客さんを引っ張ってきて、いいサービスをして、またそれを後につなぐというか、明るいニュースが今一番欲しいと思っんです。

**大橋**▶1990年(平成2年)の時に適正人口という言葉を使いました。人口が減ったままですよ?という、琴平の住みやすい適正人口ってど

両隣さんが、「何しよんな?」「今日何食べたんな?」と声かけするためにも私たちは訪問しています。初日は警察官と一緒に同行してもらっています。そこで、振り込め詐欺に遭わないための話とか交通安全の話してもらっています。それで私たちもお礼にお寿司をお渡します。地域の人にお寿司とグッズを渡しているところを写真に撮ってもらって、琴平署からも琴平のふれあい事業を発信してもらっています。

**大橋**▶茨城県警は警察官が全戸の家庭訪問をすることになっていました。昔はどこでもやっていました。それがいつの間にか家庭訪問がなくなりました。今は悪徳業者が家庭訪問をして、心を許されているんな問題を起こしているわけだから、もっと行政も社協も警察も家庭訪問だけではなくて、家の中に入るのが大事です。

**為広**▶大きな一つの壁は個人情報です。家に入ることも個人情報保護にはだめやないかとかそんな壁を作るといざとなった時に困るかなと思います。

**大橋**▶民生委員が個人情報を守るのは当たり前で、個人情報を知らない限り、支援なんかできません。例えば緊急対応の問題にしても、災害の問題にしても、知らなくて

はいけません。だからあなたの情報はどこの範囲まで知っているよというのは確認したらいいと思います。

**為広**▶防災の避難のことも、これは山の方は大変やなと思います。避難するのに金毘羅さんの大門くらのところまで行くんです。その時に高齢になっていくから、みんな足がない、息子は蹴ついでない、そんなのがもう何年も続いています。一人暮らしが多いです。

**大橋**▶それ、琴平の地図の上にマップピングしてみたらどうですか?

**為広**▶やったことがあります。

**大橋**▶そうでもない行政の人も町長さんわからないと思っんです。数を言ってもだめなんですよ。実際の地図の上で、そこに誰が行っているのか、他人と何回くらい話ができるのか、そういうことをやる必要があります。

**大橋**▶この間、長野県王滝村という人口660人のところに呼ばれて話をしました。山のすごいところにヘルパーさんが行かなくてはいけないわけです。そんなの介護保険では採算取れないです。だから地図の上にはわかりやすくマップピングしてもらって、可視化してわかるようにしないとイケないです。それは一人暮らしの高齢者で何らかの見守りが必要な人や婦人会や自

のべらいつい増えなきゃいけないという発想は、どこか高度経済成長の名残みたいなのを我々は引きずってしまっている、人口構成は変わるけどそこにいる人たちが相互に助け合うような状況をつくればいいと思います。だから「障がい者のための、高齢者のための福祉のまちづくり」ではなく、「福祉のまちづくり」だと。島根県津和野もそうです。錦鯉がいるきれいな町です。そういう風に金毘羅さんだけではなくて、プラス何か、きれいな町だね、あそこは高齢化率も高いけどみんながんばってねって。だから上勝町がそうですね、あそこはごみの分別、45分別やっついていて、国連のダボス会議にも呼ばれるわけです。そんなことを考えると、琴平はもっとポテンシャルの高い何か力を持ってらんじやないかと思っんです。従来の高度経済成長的なあるいは戦前の富国強兵の感覚で、大きくなってはだめだという発想はやめて、「福祉はまちづくり」で、障がいを持った人も一人暮らしの家庭も住みやすいまちづくりを徹底的にやったら、人が来るんじゃないですか。島根県邑南町はひとり親家庭を誘致しているので広島の方からたくさん来るんです。そういう風に住みやすいところだっ

いう風にやればいいし、高齢化が進んでも農福連携をしたらいいです。障がいを持った人がガアリツク娘じゃないけどいろんな可能性があるわけ、要は今いる8,000人ぐらいの人がみんな役割を持って意識して地域を良くしたいっていう風な「選択的土着民」、「琴平に生まれたからじゃなく琴平が好きだから、住み続けたいからやっぱり良くしようよ」という住民を増やさない限りだめなんじゃないでしょうか。

**片岡**▶適正人口というのと、人口8,000人ですけど、1万2,000人と大変多かった頃を基準にすると寂しいんですけど、人口密度で言うと、香川県で3番目です。狭い町だけど県内で3番目の密集地ということ、事実人口が減ることは否めないの、現実を見た上で、いわゆる持続可能なまちづくりと、いうことではない、町がきれいとかお歳を召されても安心して暮らせるとか。配食サービスは小さい町からできます。小さいからこそ狭いからこそできるということ、マイナズではなくプラスとして考えていく。人口が少しずつ減っていくんですけど、住んでいる人が住みやすいというキーワードで接していかないと。もう一つデータでいうと、一人当たりのごみの量を人口で割る

治会と一緒にやってやってみたらどうですか?

**為広**▶社協の人を手く使うというか、ここまでやってくれと、じゃあ町の方も援助するからという風に社協に対する温かい手を差し伸べなかつたら福祉は成り立っていないと思っんです。

**大橋**▶行政はどうしても制度に当てはまるかどうかの判断になります。そういう意味では、今度、社協が重層的な支援体制整備事業を受けるわけだけれども、あれはやはり自治会とか婦人会とか民生委員だとかそういう人と一緒に限らない限りできないので、その活動を支援するために行政が補助金を出すのは当たり前だと思っんです。行政は、住民が言ってきたことにはきちんとして対応します、要するに言っこない人のことはわからないです。だからそこを厚生労働省がアウトリーチして御用聞きしてくださいよと言っっているわけで、そういう意味で、自治会とか福祉委員とか婦人会とか、そこ一緒にやって社協がアウトリーチしないといけないんです。

**為広**▶町と社協と住民がタッグを組んでいかなかつたら進んでいけないと私はいつも思っっています。



と一番多いのは直島町、2番が小豆島町、3番が琴平町。この3つは観光地。直島町も小豆島町も琴平町も町は小さいけれど外から来ると多いのが、当然そこ経済が生まれてごみが多い。ごみのない町というのは、これはもう夢物語だけれど、ごみが落ちてない町、これはできると思っんです。先程グリーン作戦とありましたが、民間の方で、ちょっと今日は天気がいいからごみ拾いに行こうというごみ拾い隊とか。それがまたパトロールになるし防犯にもなります。

**大橋**▶やってないの?

**片岡**▶琴平町にはパトロール隊が無いんです。そこを町としてもそういう応援をしていきたい。ポラ



## 善意の寄付

皆様からの善意の寄付は琴平町の地域福祉に有効に活用させていただきます。厚く御礼申し上げます。

令和5年11月1日～令和6年1月31日

### 一般寄付として

- 匿名 様より 10,000円
- 一般社団法人仲善教育会 様より 18,623円
- 匿名 様より 10,000円
- 匿名 様より 2,000円
- 吉田 武人 様より 300,000円
- 匿名 様より 50,000円

### 香典返しとして

- 匿名 様より 30,000円



## 使用済み切手・テレカ・入れ歯 収集ボランティア

令和5年11月1日～令和6年1月31日

使用済み切手・テレカ・入れ歯収集ボランティアにご協力いただきまして誠にありがとうございます。

- 中野うどん学校 様
- 大森 ミエ 様
- 宮武商店 様
- 榎井婦人会 様
- 川上板金 様
- 弘栄社 様
- ことひらテラス 様
- 福家さん家 様
- 匿名 3件

※使用済み切手の注意事項



## 野菜・食料品・物品の寄付

令和5年11月1日～令和6年1月31日

皆様からたくさんのお野菜や食料品、物品の寄付をいただきました。生活に困っている人の支援や食事サービスに活用させていただきます。温かいご支援をありがとうございました。



- 野菜(大根、白菜、ブロッコリーなど) 15種類 10件
- 食料品(米、麺、スープ、おもち、甘栗など) 7種類 4件
- 物品(オムツ、鍋、テーブルクロスなど) 5種類 3件



## R5年度 共同募金(法人募金企業)ご報告

池田内科医院  
岩崎医院  
岩佐病院  
大浦内科消化器科医院  
大中仏壇店  
おおいし病院  
岡田工業  
国際ホテル八千代  
五条眼科医院  
琴参閣  
琴平工具

コトヒラ公益社  
琴平塗装(株)  
こんぴら石油(株)  
(株)こんぴら堂  
桜の抄  
塩田歯科医院  
中讃クリーン  
天狗堂  
ナガレ  
にしきや本店  
西山食肉店

服部商店  
浜田眼科医院  
藤田自動車  
船岡建設  
道久テレビサービス店  
宮武商店  
ミヨシ電化  
森内科医院  
山西桂華堂  
やまもと耳鼻咽喉科

3,000円以上の募金をいただいた法人企業様を掲載させていただいています。ありがとうございました。



五十音順/敬称略

## 募金活動以外にご協力いただいた店舗様

こんぴら温泉湯元八千代  
さめき名物骨付鶏 田中屋  
中野うどん学校



五十音順/敬称略

## 事務局通信

# シャントセナ (福祉ことひら合併号)

No.253 (令和6年3月号)

## 「ガリック嬢」「どこでもガリック」が第4回かがわ食品ロス削減大賞 優秀賞受賞!



食品ロスに対する取り組みが評価され、見事受賞しました。買って地域貢献できるガリック嬢とどこでもガリックをこれからもよろしくお願いします。

ガリック嬢  
どこでもガリック →  
注文フォーム



第38回琴平町社会福祉大会

会長感謝証受賞者

<福祉委員功労者>

氏名	自治会名
北山 武 様	北浦自治会
中井 久美 様	大西山第1自治会
森藤 津也子 様	南新町第三班自治会
白川 初子 様	阿波町中自治会
大西 喜美子 様	阿波町東自治会
藤田 峰子 様	汐見自治会

受賞された皆様おめでとうございました。

琴平町共同募金委員会

SNS QRコード



こんぴら朝市

SNS QRコード



## ステーション行事予定表 (3/10~4/6)

日	月	火	水	木	金	土
3/10	11	12	13	14	15	16
こんぴら朝市 9:00~12:00 (予定)		-生きがいデイ (手芸)		生きがいデイ (体操)		
	17	18	19	20	21	22
			-生きがいデイ (手芸)		評議員会 ・生きがいデイ (高瀬天然温泉)	
	24	25	26	27	28	29
こんぴら朝市 9:00~12:00 (予定)		-生きがいデイ (手芸)		弁護士相談	生きがいデイ (体操)	30
	31	4/1	2	3	4	5
			-生きがいデイ (手芸)			6

☆4月の弁護士相談(要予約)は 4月17日(水)の予定です。

※予定変更する場合があります。詳細はHPをご確認ください。

※今回は紙面の都合上ちょっとこ場、楽集館の行事予定は掲載していません。ご利用希望の場合は社協まで連絡ください。



# 地区担当職員紹介

令和5年12月より地区担当職員の変更がありましたので、報告致します。

## 五條地区



森直人 山下晶子  
川本浩司 渡邊京子

## 琴平地区



西山陽子 藤田美枝子  
岩崎敦史 山崎智久

### 新人職員より一言

11月より社協の一員となりました。まだまだ分からないことばかりですが、色々教えていただくと幸いです。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。(川西)

### 新人職員より一言

皆様に顔を覚えていただけるよう様々なことに取り組んでいければと思います。わからないことばかりでご迷惑をおかけすることが多くあるかと思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。(柳井)

## 象郷地区



三嶋ひとみ 川西菜花 森末裕之  
福永恵 古田麻美

## 榎井地区



松島直子 柳井里奈  
上田法嗣 金児千春